



スキー協通信

No.410

発行
2018.11.1

発行責任者
出崎福男

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)
00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)



懐かしい顔、新しい顔がそろって・・・

創立 50 周年記念レセプション 2018/9/30



目次

リレーエッセイ「雪紋」／第5回指導員ミーティング／関東B指導員養成理論研修会	2頁
会議の報告／越年スキー・スノーボードのお誘い	3頁
2018 スキーセミナー、創立 50 周年記念レセプション	4・5頁
クラブからのお誘い／10・11月のカレンダー	6頁

今後の組織局の活動

東京スキー協 副理事長 星野 昌弘

リレーエッセイ 雪紋

去る6月17日、東京スキー協第51回定期総会で、私は副理事長に選出されました。初めての仕事なのでご迷惑をおかけすると思いがちですがよろしくお願いいたします。今年、東京スキー協が創立50周年を迎えた年でもあり、長い歴史を積み上げてきたクラブ員・諸先輩の方々の努力に改めて敬意を表するとともに、その責任が重大であることを、改めて認識しました。

今東京スキー協では様々な問題が発生しています。会員の減少や高齢化、財政問題などが大きな課題として提起され、機関会議でも討議されてきました。組織局としては会員の減少傾向が最も大きな要因であると考えています。会員増加や現行会員の活性化に向け、今後以下の活動を行っていきたくと考えています。

- ① スキーは楽しいをモットーに、他のクラブとの行事の合同開催を呼びかけます
(すでに、スキー協通信に呼びかけを行ってきました。今後も行っていきます)
- ② 他の部局と相談して会員名簿管理の一本化を行い、情報把握を行います
(情報の統一化に向け他部局と話し合いをもっていきます)
- ③ スキーメイト購読の呼びかけを全会員に行っていきます
(未読者の指導員について、案内文を発送しました。今後は未読者会員にも案内します)
- ④ 老若男女幅広い層へ普及するためジュニア部の復活を準備していきます
(三多摩親子スキーに参加してノウハウを蓄積し、ジュニア部復活を目指します)

熱い議論で多くの気づき 第5回指導員ミーティング

2018年10月20日(土)午後、「指導員ミーティング」を国分寺の本多公民館で開き、10クラブ18名の指導員が集まりました。このミーティングは、「指導員として活動をしているなかで悩みや疑問が湧きませんか?」、「悩みや疑問をグッと心の中にしまいこんでいませんか?」、「指導員ミーティングで指導力レベルアップのヒントをつかみ、頭と心をすっきりさせ、目前に迫ったシーズンで実践しよう!」ということで2016年10月の第1回を皮切りに、シーズン前とシーズン後の年2回行っているもので、今回で5回目となります。

今回は、前半に「今が旬」な改訂教程のポイントを「改訂教程は超シンプル!」と題して福島教育技術局長が解説しました。後半はあるクラブの会員さんの滑走ビデオを観た上で、「その滑りのどこが弱いのか、いいところはどこか」、「その原因はなんなのか」、そして「滑りを変えていくための方法を具体的に考える」ということで、参加者全員での熱い議論を行い、あっという間に時間が過ぎました。教程の話と実践的な話がかみ合い、いろいろな気づきが各指導員にあり、充実したミーティングとなりました。

次回はシーズンの終わった2019/5/25(土)に、「今シーズンの指導から、こんなことでうまくいった」という自慢話の披露や、「どうしたらいいんだろう」というお悩みをテーマに開催が予定されています。(教育技術局)



関東ブロック指導員養成理論研修会

2018年10月14日(日) 会場: 船橋市 道祖会館

初級受検(東京2名、千葉1名)、中級受検(東京2名、千葉2名)、指導員研修(東京2名)

今年の研修会では東京から千葉へ遠征。船橋駅から徒歩数分、道祖会館で指導員養成理論研修会が行われました。朝9時から昼をはさんで17時まで、5科目7時間の理論の講義をみな真剣に学びました(長谷川)

会議の報告

第3回理事会 2018.10.11 (木)

東池袋第四区民集会室 34人中18人出席

副理事長 村本博司

<会議の主な内容>

1. 序盤 50分ほどかけて、2回行った財政検討委員会の討議内容を数字に基づき説明し、厳しい財政状況を共有した。

- ① 会員一人3,500円の会費のうち、スポーツ連盟都連盟と全国スキー協に計2,000円納めると、東京スキー協の収入は1,500円しかないのは、バランスが悪いのではないかと。
- ② 最大の支出「事務所関係費」のなかの「維持費」について、現行の月49,000円の家賃等を支払うには、会員が約750名以上いないとできない。10数年前から会員は750名を下回っていて、バランスシート上は問題があった。カンパと行事収入、5年前からは「移転等準備金」の取り崩しで補っていたが、実質は10数年前から赤字状態といえる。また、今期から「傷害積立基金」を取り崩していることは、緊急の課題であることを確認した。
- ③ 理事長より提案されていた家賃2万円の根拠として、事務所スペースの削減（机1つ、パソコン1台、電話1台、キャビネット1つにするなど）について検証した。
- ④ 「東京スキー協より会員の少ない種目団体（バレーボール、バスケットボールなど）はどうしているのか」、との質問に対し、小川理事長より、スポーツ連盟の都連盟事務

所に家賃なしでレターケースだけ置いてあるところもある、との回答。このことより、「東京スキー協は、会員が何人になったらそのような決断をするのか。事前に決めたらどうか」との提案があった。

- ⑤ クラブ員を1人増やしたが2人減った「こなゆき」の現状を紹介。会員拡大の努力にもかかわらず、高齢化により会員が自然減少していくことは止めがたく、他クラブからの同様の事例の報告があった。クラブの縮小は組織にも直結するなかで、会員拡大の真剣な取り組みの必要性を確認。
2. 会員登録は20クラブ、会費納入は22クラブ。引き続き登録と入金状況の確認中。計1,331,500円の入金あり(9/30現)
3. 公認資格者(スキー指導員、山スキーリーダー)は今期103名(前期109名、今期見込みは104名)で全国スキー協に登録名簿を提出した。登録料の期限内納入は78名、計194,000円(9/30現)。今期から、9月末までに年次登録料が未納の方は年次登録とはならない(指導員規定第5条)ことを徹底することを確認。
4. スキーセミナーは過去最高の99名の参加があり盛況だった。(59,428円の黒字)
5. 改訂スキー教程は145部の早割販売。計画80部を大幅超過したが、手数料収入はなし。
6. 50周年レセプションは、当日台風の影響で電車が止まるとの状況にも関わらず、65名の参加で、有意義なものとなった。無事に帰宅することを最優先にタイムテーブルの変更で対応した。(66,638円の黒字)
7. 事務所家賃交渉について、10/22に行われた事務所会議で、条件付き合意案が提示されました。

正月をキューピットバレイで！

越年スキー・スノーボードのお誘い

日程：2018年12月30日朝 池袋発～2019年1月2日夜 池袋帰着

交通：**貸切バス** 宿泊：雪だるま温泉キューピットバレイスキー場

参加費：70,000円（3泊6食、**リフト券3日分付**、傷害保険料含む）

キューピットバレイは、知名度はあまり高くないけれど、**2000m超のゴンドラ**や温泉もある新潟の中規模スキー場。往復のバスは、昼間移動のゆったりめのスケジュールにしました。

詳細と申込み用紙はこちら

<http://www.tokyoskikyo.org/bira/2018etsunen.pdf>

東京スキー協 50周年シーズンにむけて飛躍を！

2018 スキーセミナー

2018年9月30日(日)

9月30日の午後、池袋のIKE・Biz としま産業振興プラザ 6階 多目的ホールにおいて、2018 スキーセミナーが開催されました。今までで最高の99名（講師含む）の参加で成功しました。

最初に、東京スキー協副会長(教育技術局長)の福島明さんが、「指導員の役割・権利・義務、指導とは、スキーの安全について」をテーマに講演しました。その中で東京及び全国の指導員研修受講状況についての過去のデータからの変遷で、東京が改善されてきているものの昨年度からそれが頭打ちであることが紹介されました。スキーの安全については「スノースポーツ安全基準」に触れながらご説明頂きました。

2番目は、皆さんご期待の全国スキー協 デモンストラーター野瀬 孝さんによる「改訂スキー教程は超シンプル！」。滋賀県からおいで頂き、東京スキー協のスキーセミナーには初登場です。プロフィール紹介につづいて、野瀬さんが考える改訂教程の神髄に関する3つの合言葉として「山側押し開き」「谷脚戻し」「前へ出る」がまず紹介されました。「山側押し開き」はターン前半、「谷脚戻し」はターン後半に谷脚荷重で山脚（内脚）が谷脚側に戻ってくる動き、「前へ出る」は、切り替え時の動作です。この3点さえ押さえれば、ほぼ9割マスターしたようなものですとのお話し。現教程と同じところと変わったところについては、踏襲するものとして①「楽しく早くうまくなろう」というスキー愛好者の技術向上要求と併せて常に開発される用具のとの関係で改訂してきたこと②パラレルターンをいかに早く習得してもらうかという考えが貫かれていること③体軸の傾きを基本とした考えで、変わるものは、①「落とす技術」である内向傾ターンの前の技術としてプルーク導入②初歩・ベーシック・洗練・発展のパラレルターンの分け方（足裏切替ターンは洗練のパラレルターンIなど）③検定種目、であることが説明されました。新教程の目指す滑りとは？として、パラレルターン、「谷回りターン技術」の修得、スキーの



回転性能を生かす技術、スキーの横ずれと横ずれを止める技術の自在性、外傾姿勢による外脚荷重と強い角付けが紹介されました。

講演のトリは、全国スキー協 会長 栗岩 恵一さん。「スキー協 50周年 その過去・現在・未来」がテーマです。最初に今年起きたパ



ワハラなどスポーツ界の不祥事に触れ、スポーツ界に対する問題提起からお話しが始まりました。過去を振り返る中では、第二次世界大戦で多くのスポーツマンの犠牲があったことに触れ、戦後の反省の中から、平和でこそスポーツ・スキーが行えるという教訓をお話しされていました。現在の取り組みの中で「スキー協らしさ」を追求するためには、組織と技術と社会貢献を一体のものとして行っていくことの大切さが語られ、未来に向かって、会員の要望に寄り添い、新教程を力に50周年を大きく成功させようと呼びかけられました。

最後にパネルディスカッションが、福島明さんを司会に、他の講師2名と東京スキー協から若手(20代)の横川一星さん(シーハイル)、副理事長の村本博司さん(シュプール)の4人で行われました。最初に、簡単に自己紹介をして頂き、ご自身がクラブやスキー協の中でやりたいことを熱く語って頂き、講師の方々への質問をして頂きました。若いお二人や会場のおられる比較的最近にクラブに入った方々からは「栗岩さんってこんな方なんだあ！」との声も聞かれ、スキー協の長い歴史を感じることができました。さらに、講師の方々からは東京スキー協への期待が語られました。スキーシーズンに向け、このセミナーを力に活発な活動を展開しましょう。(出崎福男)



50周年記念レセプション

9月30日、東京スキー協スキーセミナー後、同じ会場で、創立50周年記念レセプションが開催されました。当日は大型台風の接近で開催が危ぶまれ、20時にJRが全休するとの情報が入り対応に苦慮しましたが、臨機応変の対応により65名の参加(申込77名)で無事に執り行いました。参加者全員が無事に帰宅することを最優先に考え、ケータリングの手配がついた16時の時点で、開始を30分繰り上げ17時30分からとしました。また、タイムテーブルを変更し、時間を短縮して18時45分に終了しました。大半の方はスキーセミナーから続けての参加でしたが、レセプションから参加された数人の方にはご迷惑をおかけいたしました。いずれにしても、忘れられないイベントになりました。司会は伊藤正明さん(シュプール)と土方由美さん(モルゲンローテ)が滞りなく進めてくれました。

「一人ぼっちのスキーヤーをなくそう」「早く、安く、安全に上達しよう」と奮闘して半世紀。30周年以来会員が減り続け財政的にもかなり厳しいが、結束してがんばろう!と、市川会長の開会の挨拶と出崎理事長の乾杯がありました。電車事情から欠席された方もありましたが、野瀬孝さん(スキーセミナー講師、滋賀スキー協)、木村博さん(埼玉スキー協理事長)、東山千恵子さん(千葉スキー協理事長)と、スキー協関係の来賓と

して3名の方から挨拶をいただきました。また、お世話になっているクレブスポーツの岸野会長、ホテル山楽の山本社長、下幅旅館の種村清さん、舞子スキークラブの阿部孝さんからはメッセージをいただきました。ホテル山楽様からはお花まで頂戴いたしました。この場を借りて御礼申し上げます。

第二部は創立50周年を記念して作成したDVDの上映からスタート。懐かしい写真にわーっと声が上がったり、拍手が起こったり、みなさまに楽しんでいただけたようです。このDVDは1枚500円で頒布しています。

その後、来賓として、創立以来の会員である白鳥操さんと、白鳥さんの呼びかけで、現在は会員ではありませんが創立メンバーの栗原勇三さんと山崎一彦さんが、対談する形で当時の思い出話をされました。スキー協は仲間を増やす運動であり、単なるスキー技術の向上のためだけではなく、ぶつかり合いながらも人と人とのつながりを求めてきたことをあらためて実感させられました。次に、厳しい情勢の中で、50期に会員を拡大したクラブの表彰を行いました。

最後に、実行委員長の私が「人生100年時代。最低でも85才までは滑ろう!少しでも長く健康で楽しくスキーを楽しみましょう!!」と閉会の挨拶を行い、三本締めでお開きとなりました。創立60周年記念レセプションが開催できることを心より願っています。(実行委員長 村本博司)



技術レベルアップと交流に役立て8年目参加者の声を反映させて内容をさらに充実

2018テクニカルフェスタ

日程: 2018年12月14日(金) - 16日(日)

会場: 志賀高原スキー場 (ホテルジャパン志賀)

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬 TEL: 0269-34-2801

- ✓ 全コースでビデオを使って滑りをチェック
- ✓ スキーテクニカルテスト(STT)で実力把握 (16日午後)
- ✓ 夜は大交流会 15日

案内: http://www.tokyoskikyo.org/topics/2018bira/2018shiga_final.pdf

締め切りは11月30日(金)、余裕をもって申し込みを!!

QRコード→、またはURL↓から申し込みサイトにつながります。

<https://cloud.conference-er.com/event/c0860874115>



練馬ヒューマン ゲレンデで迎えるお正月

～白銀の中のカウントダウン～

クラブからのお誘い

日程：2018年12月30日(日)～2019年1月2日(水) ※締め切り11月30日

会場：志賀高原 一の瀬ファミリー

宿泊：ホテル山楽（トロン温泉）

参加費：47,000円（ビジター49,000円）、小学生30,000円（宿泊費、バス代、保険代、交流会費）

問合わせ先：03-5393-4914 臼井（うすい）

●詳細と申込み用紙はこちら⇒ http://www.tokyoskikyo.org/topics/2018bira/2018_shiga.pdf

シュプールSC オープン行事 スキーバス in かたしな高原

誰でも参加できます！ 楽しく上達できます！！

クラブからのお誘い

日程：2019年1月18日(金)夜～20日(日) ※締め切り1月8日

会場：かたしな高原スキー場

宿泊：辰己屋旅館（温泉）

参加費：23,000円（1.5泊3食、バス代、講習料・ビデオ撮影、保険料）

集合場所：JR西国分寺駅南口20:00 西武新宿線 航空公園駅前20:40

申込み・問合わせ先：萩原 bs8m-hgwr@asahi-net.or.jp

申込金10,000円を郵便振替口座00140-7-410935(シュプールスキークラブ)にご入金をお願いいたします。

●詳細はホームページ (www.spurski.com) をご覧ください。

11・12月のカレンダー

11月	行事名	12月	行事名
11/1(木)	常任理事会	12/1-2(土日)	中央研修会
11/6(火)	山スキー委員会	12/6(木)	理事会
11/9(金)	山スキーの集い	12/4(火)	山スキー委員会
11/10-11(土日)	全国理事会	12/8-9(土日)	シーズンインきゃんぷ
11/14(水)	教育技術局会議	〃	関東B初中級指導員養成実技
11/15(木)	広報局会議	〃	山スキーリーダー養成実技・研修会
11/18(日)	指導員合格のためのレベルアップ	12/13(木)	広報局会議
〃	山スキー基礎講座	12/14-16(金土日)	テクニカルフェスタ
11/19(月)	全国常任理事会	12/17(月)	全国常任理事会
11/20(火)	組織局会議	12/25(火)	通信発行
11/24-25(土日)	全国技術部会	12/29-1/3(土-木)	越年スキー・スノーボード
11/27(火)	通信発行		

編集後記 **エビノシッポ**

新しい「スキー教程」が、この9月に発表されました。発売されたDVD版1000部は10月末にはほぼ完売。14年ぶりの改訂は9割の会員が求めていたとか。でも、完成版にしていません。解らなくても、まずはできることから指導。実戦を積み重ね、より良い教程を目指しているようです。指導員のみなさん。失敗を恐れずにどんどん教えましょう。（五十嵐）